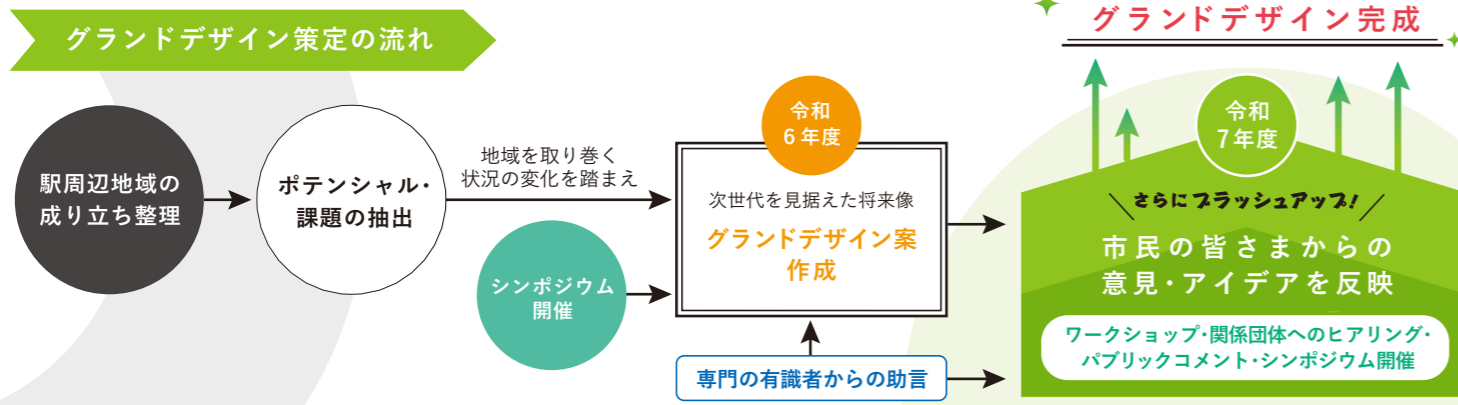


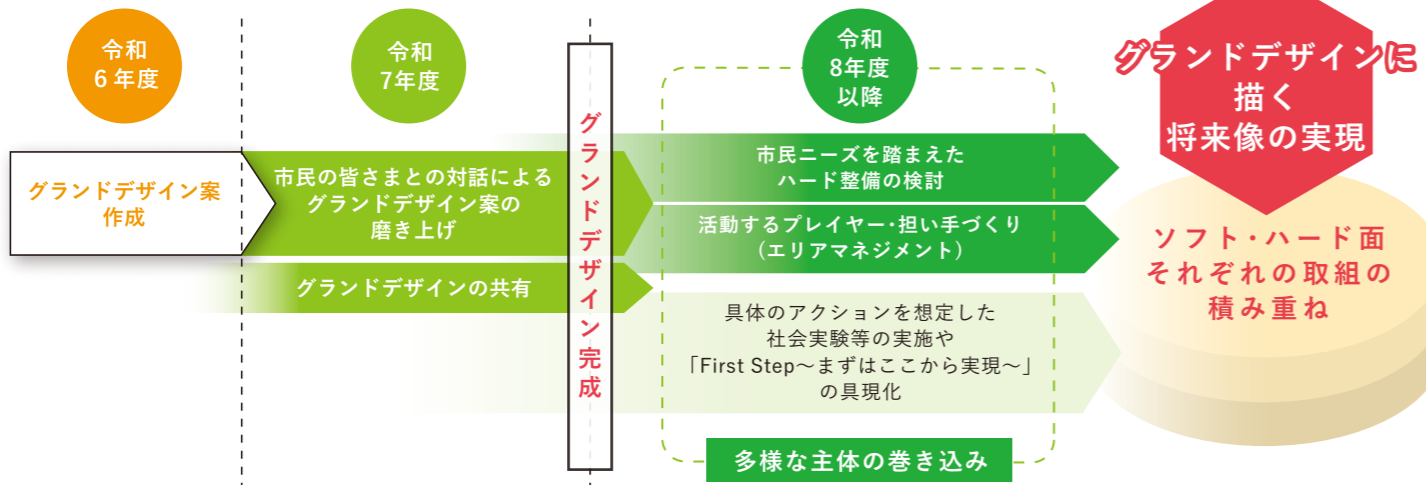
グランドデザイン策定の流れ

以下の流れでグランドデザインの策定を進め、市民の皆さまの意見やアイデアを反映することでグランドデザインに掲げる将来像をブラッシュアップしました。



グランドデザインの実現プロセス

今後、市民参加のワークショップや社会実験等を行うなかで地域の将来イメージを具体化し、市民や事業者等と協働して実現を目指します。



行政・市民・事業者の役割分担

グランドデザインに基づき、石清水八幡宮駅周辺におけるまちづくりを推進していくにあたり、市民・事業者・行政の役割を整理しました。



さあ、このグランドデザインを持って、石清水八幡宮駅周辺へ出かけてみませんか？

令和8年3月
発行：八幡市 建設産業部 まちづくり推進課
調査・制作：株式会社URリネージュ 西日本支社

石清水八幡宮駅周辺 グランドデザイン

概要版

グランドデザインの策定経緯と目的

策定経緯

石清水八幡宮駅周辺は、かつて石清水八幡宮の門前町として栄え、市の玄関口としての役割を果たしてきました。しかし、現在では人口減少や少子高齢化、乗降客数の減少、店舗閉店などにより地域の活力が低下しています。

一方で、訪日外国人の増加や広域交通網整備などに伴い、八幡市の持つポテンシャルは今後向上していくと考えられます。

このような背景を踏まえながら、市民・事業者・行政等が長期的な視点のもと次世代を見据え、議論をし、まちづくりを進めていくことが求められます。そこで、市民の皆さまの意見やアイデアを踏まえ、市の玄関口にふさわしい駅周辺の目指すべき将来像を示す「石清水八幡宮駅周辺グランドデザイン」を策定します。

グランドデザインの目的

ともに歩む 未来への(光の)みちしるべ
—石清水八幡宮駅周辺グランドデザイン—

旅人を導き続けてきた「道標(みちしるべ)」—

東高野街道の沿道には、

その「道標」が人々を目的地へと導いてきた歴史があります。

本グランドデザインは、未来への道のりを示す

「みちしるべ」としてまちの歩みを導き—

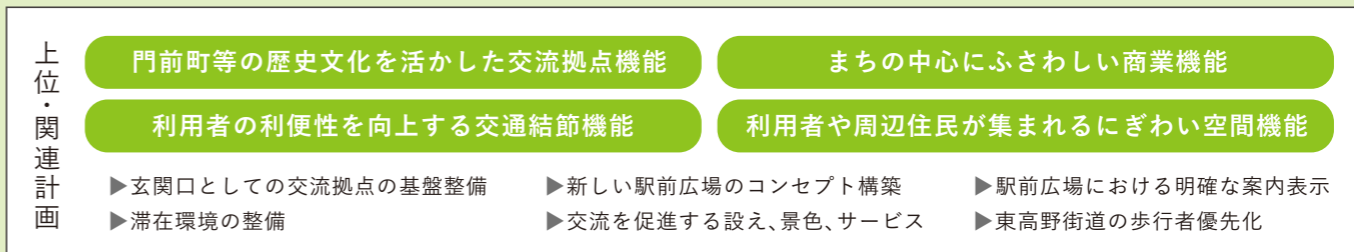
さらに、その先に描く将来の姿にあたたかい光をあてる

「サーチライト」として、市民の皆さまとともに歩む

未来を照らし出します。



まちづくりの方向性



地域のポテンシャル

地域の課題

市民の想い

社会潮流と地域の変化

まちづくりのコンセプト

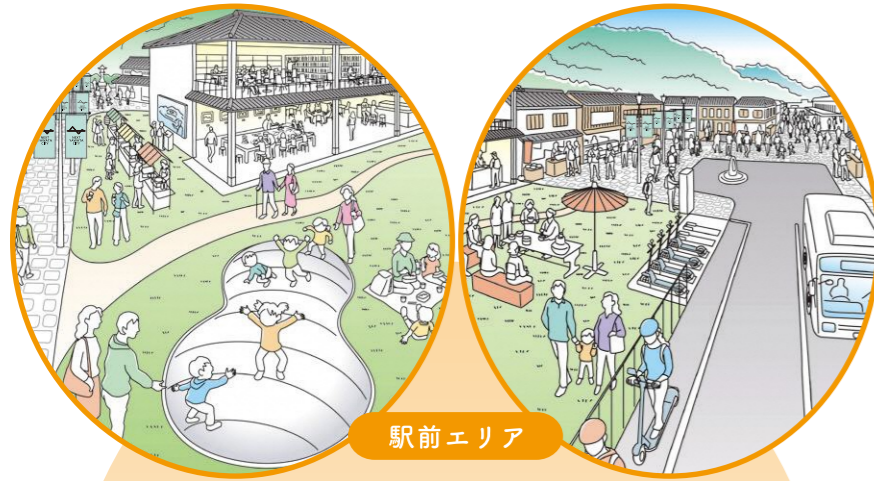
「感じる千年の歴史、未来照らす八幡。」

まちづくりの方向性

主なターゲット：周辺住民・八幡市民・来街者



将来まちで実現したいシーン



駅前エリア

観光・暮らしのコアゾーン

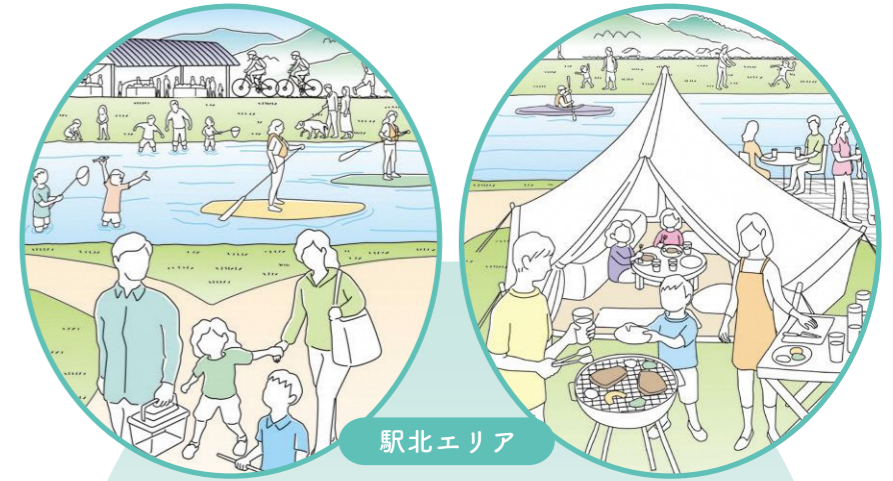
First Step

まずはここから
実現

- 駅前広場で実験的に仮設の屋台やキッチンカーを使ったマルシェや朝市等の各種イベントが開催されている。
- 地元の特産品が販売されるチャレンジショップでは八幡の魅力が発信され、観光客や地元住民でにぎわっている。
- 駅前の空きスペースに仮設した芝生広場では、バスを待っている人や気軽に立ち寄った人が、それぞれ思い思いの過ごし方をしている。読書やお昼寝、野点、ヨガ、お喋りなど。

- 1 多様で上質な店舗が立ち並び、市の玄関口として市の魅力が集積した魅力発信拠点となるイメージ。
- 2 市民の生活の質を向上させる施設(子育て支援施設、コワーキングスペースなど)や、自由に心地良く滞在できるオープンスペースなど、豊かな暮らし・おもてなしの心を楽しむことができる空間となるイメージ。

- 1 豊かな自然を活かした、五感を刺激する多種多様なアクティビティが展開されるイメージ。
- 2 散歩やジョギングを楽しむなど、男山と三川合流の自然を身近に感じ、四季の移ろいを味わいながら、生活を営むことができるイメージ。



駅北エリア

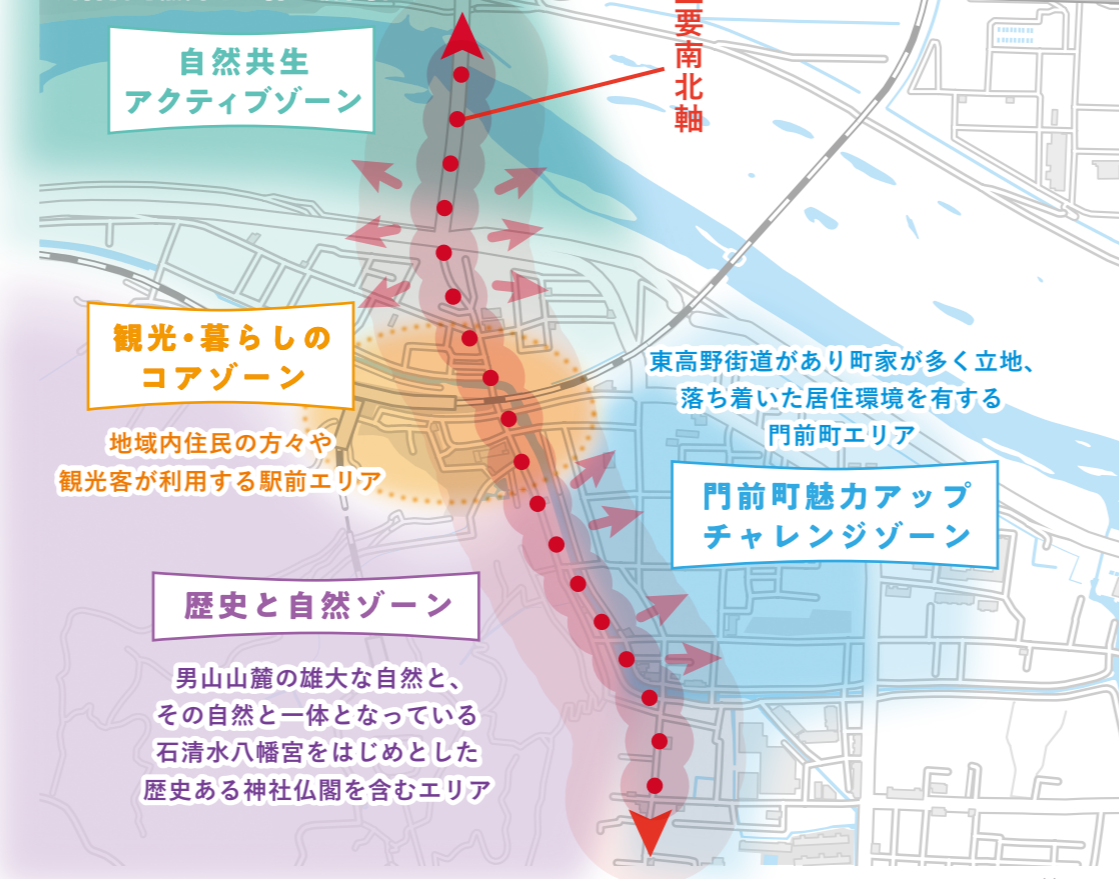
自然共生アクティブゾーン

First Step

まずはここから
実現

- 家族や友人と一緒に、川沿いに設置されたリクライニングチェアやパラソルの下で、日光浴やバーベキュー、焙煎珈琲を楽しむ。
- 子どもと一緒に季節ごとの自然観察や環境教育ワークショップに参加。簡単な材料を使って、野草を使った料理やクラフトを体験。自然や生態系の循環を学ぶ。
- 御幸橋付近の防災施設(かまどベンチ・パーゴラ)を使って防災ピクニックを楽しむ!
- カヌーや川下りなどの河川アクティビティを楽しむ!

自然が近く市民の憩いの場となっている
三川合流地点周辺を含む駅北側エリア



(c) Esri Japan

- 1 先人たちが受け継いできた歴史や神仏習合のストーリーに加え、男山の自然環境や生態系を学び、未来へ伝承していくための中心的な空間となるイメージ。
- 2 八幡市の顔と言える石清水八幡宮における市民イベントの実施や、石清水八幡宮などの祭事との連携により、より多くの人に八幡の魅力が伝わる空間となるイメージ。

- 1 歴史的な街並みを活かし、古民家をリノベーションした店舗や宿泊施設などが立ち並び、住民の生活利便性向上を図りつつ、生活環境を守りながらにぎわう空間となるイメージ。
- 2 空き家や駐車場などを活用した、誰もが気軽にチャレンジする場を提供することで、新しい魅力や地域内外の交流が生まれるイメージ。



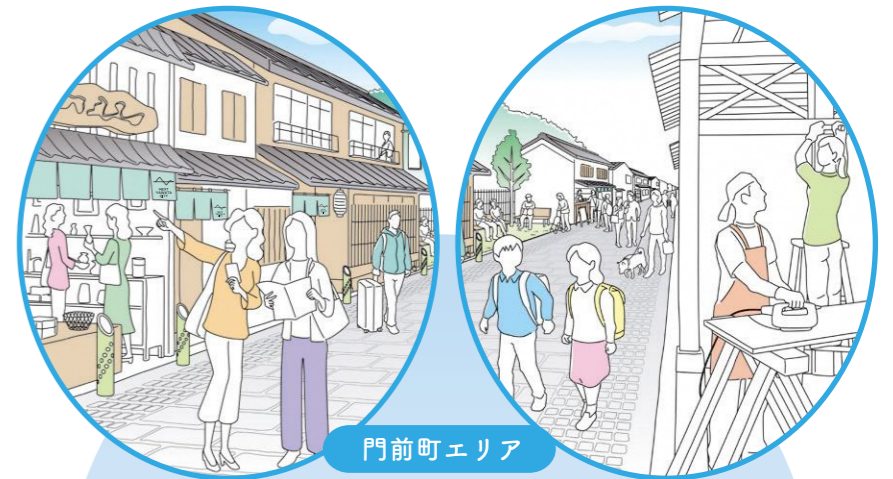
石清水八幡宮エリア

歴史と自然ゾーン

First Step

まずはここから
実現

- 歴史好きカップルは同日開催されている石清水八幡宮の神事と市民イベントに参加。歴史的な催しを体験しながら、地元食材や工芸品が立ち並ぶマルシェを満喫。
- 地元の親子が男山の麓で開催される自然観察ワークショップに参加。季節の植物や野鳥を観察し、自然の仕組みやエコシステムを学ぶ。
- 学芸員や先生による屋台型のモバイル・ミュージアムで歴史を学び、「はちまんさん」探検コースや男山四十八坊跡等を巡る探検コースを作ってみた後は、観光ボランティアに参加!
- 幅広い学びの場・発見の場として、自分の「好きなこと」・「誰かに話したいこと」・「ちょっと得意なこと」を誰かに聞いてもらう「みんなの八幡大学(仮称)」を開催。



門前町エリア

門前町魅力アップチャレンジゾーン

First Step

まずはここから
実現

- 手作り小物をつくっている私は、門前町の沿道でポップアップショップを出店。いつか駅前に自分の店を出すために、少しずつファンを増やしていきたい!
- 子どもと一緒に、空き駐車場を使った週末限定の夜市に参加。歴史的な街並みを楽しみながら、地元のクラフトやフードを堪能。子どもは昔遊びスペースでエンジョイ!
- 門前町魅力アップチャレンジゾーン内で共通する暖簾をみんなで作成し、軒先に掲げて雰囲気づくり!
- 八幡の歴史を楽しく教えあい・学び、「こんなに素敵なおとこだよ!」と家族・友人・知人に自慢!